

## 特集2 津田塾大学 NPO 団体チカスウニダスさんにお話を伺いました。

石澤智子（津田塾大学3年）

### <チカスウニダスさんの活動>

ペルーの女性たちの自立支援のお手伝いとフェアトレードを学内や地域で広めること

ムヘレス  
(アルパカの毛製品を販売し、全額を返金する)

まちチョコ  
(フェアトレード商品の販売)

大学生協での販売



### <チカスウニダスさんに Q>

Q.ムヘレスの活動では、直接ペルーの方と交渉するのですか？

A. Mujeres-Unidas (ムヘレス・ウニダス) は、南米ペルーの首都リマにある貧困地区カラバイヨ区で生活する女性たちからなる団体です。現地に住む日本人女性、鏑木玲子さんの指導のもと、アルパカの毛を使った衣料品等を製作しています。

鏑木玲子さんを通して衣料品などのプロデュースや委託販売をさせていただいています。

Q. アルパカの毛製品には、どのような製品がありますか？

A. マフラー、スヌード、帽子、ニット、手袋などがあります！

とても上質な毛で暖かいです！

オススメを教えてください！

私のおすすめは、マフラーです！とっても暖かくて、普通のマフラーとは比べものになりません！  
また、色の配色や編み方の柄も工夫されていて、一つとして同じものはないです！  
オンリーワンの商品を見つけられます。

ポンチョ



ニット帽



マフラー



アームウォーマー



カラフルでおしゃれで暖かいアルパカの毛製品、これからの季節にぴったりですね(^^)

Q. どのような思いで活動を行なっていますか？

A. 初めはそもそもフェアトレードってなんだろう、という単純な興味からこの活動を行なっていました。女性の社会進出が加速する世界で、まだまだ現実では進んでいない地域も多いです。現実と向き合いながら、より女性が活躍できるような場を作りたいです。